**講演題目（MS-Pゴシック：14ポイント，ボールド）日本語と英語の併記**

**(XX)**

**Title in English (Times New Roman: 14 points and bold face)**

**-----（８ポイント　１行改行）-----**

 金属 太郎1，○鉄鋼 太郎2，中国 花子1，四国 花子3，岡山 県太郎1 (12ポイント)

 Taro Kinzoku 1, ○Taro Tekko 2, Hanako Chugoku 1, Hanako Shikoku 3, Kentaro Okayama 2 (11points)

 1岡山理大・院工，2岡山大・院生，3広島大・工，4山口大・工　（MS明朝　11ポイント）

**--------（11ポイント １行改行)---------**

1. **用紙・余白など**

ここでは，概要の作成方法について説明します．

用紙のサイズはＡ４としてください．**左上の（XX）には，プログラム決定後の講演番号を(A01)のように入れて下さい．**余白として，左右上に20 mm，下に25 mmを設定してください．また，ヘッダーとフッターの領域には，何も書き込まないでください．

1. **フォントなど**

講演題目は，日本語と英語で併記してください．発表者は，日本字表記（MS-明朝 12ポイント）と英字表記（Times New Roman 11ポイント）の両方を示し，登壇者の前に上付きの白丸を付けてください．所属は，発表者と上付き番号で対応付け，フォントにはMS-明朝の11ポイントを使用し，略式表示で書いて下さい．学生は「・学生」，大学院生は「・院生」と付記して下さい．

本文は，日本字に明朝体（ＭＳ明朝）の10.5ポイントから12ポイントの範囲のフォントを使い，英数字にはTimes New Roman の10.5ポイントから12ポイントの範囲のフォントを使ってください．また見出しは太字としてください．目的，実験方法，結果と考察，結果，考察，結論，まとめ等の項目の分け方は，執筆者の判断に任せます．また，英語で本文を書かれても結構ですが，題目など日本語との併記が求められている箇所は，それに従ってください．その場合，申込の講演題目等が英語ならば，英語表記を先に書いて下さい．

図の説明は英語で，フォントはTimes New Romanの10ポイントとしてください．表自体の形式は自由ですが，キャプションはFig.と同様Table 1などとし，書式も同じにして下さい．

参考文献がある場合は，本文中で[1]，[1,2]，[1-4]のように示し，文末の例に従って書いて下さい．

**Fig. 1.** Use Times New Roman 10 points font. This text box must make a group with the above figure. Letters in the figure should be large enough to be easily understood by the readers. Please use SI units for the data.

1. **提出方法**

PDF形式の原稿のみを受付けします．PDF形式にしたファイルのサイズは2MB以下を目安としてください．カラー印刷は致しません．PDF形式ファイルの作成方法については，日本鉄鋼協会または日本金属学会のＨＰの記載を御参考ください．ファイル名は「支部大会概要・所属（略式で）・登壇者氏名.pdf」としてください．送信の際，Subject(件名）は「支部大会概要・所属（略式で）・送信者氏名」を必ず記してください．メールの本文には，氏名，所属，連絡先（電話番号），連絡事項（連報希望順）等をご記入ください．

1. **締切など**

**概要は7月16日(水)必着**です．

送付先は　taikai@me.tokushima-u.ac.jpです．

製本の都合上，締切厳守のほど宜しくお願いいたします．

**参考文献**

[1] T. Okayama and H. Yamaguchi: J. App. Mechanics, 54 (2011) 1041.

[2] W. W. World et al: ‘World Science’ ed. by J. Smith, HU Academic Press, Okayama (2011) p.503.